

職員による自己評価

A 業務改善

- ・常に清潔な保育室を心がけるとともに事前の保育準備はしっかり行いました。
- ・会議で目標や業務分担など話し合いをしっかりと行っていますが、時間の経過とともに職員それぞれの解釈が変わってしまうため、定期的に確認しておきました。

B 適切な支援の提供

- ・健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性の5つの領域が活動を通して経験できる内容を工夫しました。

C 関係機関との連携

- ・幼稚園・保育所との連携が可能であることを保護者にお伝えしました。また、必要に応じて幼稚園・保育所に訪問や電話などで連携を取りました。
- ・幼稚園・保育所・児童発達支援事業所向けに療育センターの見学会を開催し、事業所の内容を説明しました。

D 保護者への説明責任等

- ・療育の開始、中間、終了時に個別面談を行い、療育のねらい、療育内容の説明を行いました。
- ・保護者から相談があった場合は療育日以外でも電話で対応を行いました。

E 非常時等の対応

- ・保護者には面談で感染症への取り組み、避難経路の説明を行いました。
- ・療育時間以外で職員向け避難訓練や、消火訓練に参加しました。

保護者による評価

A 適切な支援の提供

- ・個別支援計画に沿った支援が行なわれているかの項目は「はい」が84.8%、プログラムが固定化しない工夫をされているかの項目は「はい」が95.7%の回答をいただきました。
- ・子どもが通所の日を楽しみにしている、色々な経験ができ楽しめている、毎回異なった活動内容が実施されている、色々なことに挑戦ができている、というご意見をいただきました。

B 保護者への説明等

- ・運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされているかの項目は「はい」が95.7%、事前に作成された個別支援計画を示しながら支援内容の説明をなされたかの項目は「はい」が97.8%の回答をいただきました。保護者会（懇談会）の開催による保護者同士の連携が支援されているかの項目は「はい」が52.2%の回答でした。療育回数（11回）が少ないため保護者同士の連携の支援の充実が難しいのが現状です。

C 非常時等の対応

- ・緊急時・防犯・感染症マニュアルの周知・説明はされているかの項目は「はい」が89.1%の回答でした。

D 満足度

- ・こどもは通所を楽しみにしているかの項目は「はい」が71.7%、センターの支援に満足しているかの項目は「はい」が93.5%の回答をいただきました。

事業所内での分析

【共通点】

- ・活動が固定化しないようプログラムを工夫した点は保護者の方からも高評価をいただきました。
- ・面談の機会を3回設けることで運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされているかの項目、事前に作成された個別支援計画を示しながら支援内容の説明をなされたかの項目に高評価をいただきました。

【相違点】

- ・事業所としては保護者会（懇談会）を行なっておりますが保護者会（懇談会）の開催による保護者同士の連携が支援されているかの項目はアンケート評価が低く、時間の長さ、懇談会の内容ともに再度、検討の必要性があると感じました。
- ・育児に関する助言等、家族支援が行なわれているかという質問に「相談しやすく親身になってくれる」というご意見がある反面「先生と話せる時間が短く思うことが深く相談しにくかった」というご意見もあり、お子さん、保護者の方へ接する時間や対応に偏りが無いかなども改めて見直す必要があると感じました。

分析・検討してみても…

事業所の強み

【療育内容】

健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性の5つの領域が活動を通して楽しく体験できます。また着席、順番、返事、注目、手先の使い方など日常生活で必要となる様々な経験も学ぶことができます。療育を通してお子さんの得意なことを保護者とともに確認し、苦手なことはどのように工夫をすればよいのか具体的な療育的手法は活動を通して保護者へお伝えします。

【保護者支援】

療育センター内に事業所があるため、事業所の職員はじめ、ソーシャルワーカー、心理士、言語聴覚士などの専門スタッフが講師となって様々な保護者勉強会を行っています。

保護者のご相談は療育日以外にも電話等で対応しております。ご相談内容によっては必要な関係機関と連携を取ることができます。

【関係機関との連携】

幼稚園・保育所とは必要に応じて訪問や電話で情報交換を行うなど連携しています。また、療育の見学などのご希望にも対応しております。

事業所の改善点

【クラス開催の回数について】

現在、利用を希望されるお子さんが多いため、2，3，4歳児は（週1回、全11回）のクラス療育、5歳児は1年間（月2回、全約20回）のクラス療育を実施しています。そのため、2，3，4歳児の中にはもう少し通いたかったなどのご意見も伺っています。回数、期間などを検討した結果、2024年度からは療育回数を14回に増やしました。

【保護者懇談会について】

保護者会（懇談会）の開催による保護者同士の連携についてのアンケート評価が低かった点を見直します。2024年度からは療育回数が増えますので、懇談会の時間・回数を増やす予定です。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

利用者の方にはお忙しい中、アンケートにお答えいただきとても感謝しております。

コメント欄には「療育センターの写真を見せる子どもが喜んでる」「親が楽しみにしている」など内容を多数いただき、職員一同、とても嬉しく励みになりました。以前からご指摘があった療育回数・保護者懇談会や保護者同士の交流については2024年度より改善をいたします。これからもアンケートをもとにより一層、質の高い療育が提供できるよう取り組んでまいります。これからもご利用していただくお子さん、保護者が楽しく・安心して通える児童発達支援事業所を運営してまいります。